

NEWS LETTER

会長挨拶

東北大学 国際放射光イノベーション・スマート研究センター
多元物質科学研究所

虻川 匡司



早いもので会長としての2期目も終わりに近づいてまいりました。会長として大したことはできませんでしたが、振り返ってみますと、この期間に待望の軟X線領域の高輝度光源であるNanoTerasuの建設・整備が着々と進められ、本懇談会においては激動の数年間であったと感じております。本会の活動の場でありました、SPring-8の東京大学放射光アウトステーション物質科学ビームラインBL07LSUは、ほとんどのエンドステーションがNanoTerasuに運び込まれ、ビームラインへの設置作業が進められています。既にNanoTerasuのBL07Uでは設置された共鳴非弾性X線散乱HORNETステーション、BL08Uでは設置された雰囲気光電子分光エンドステーションの頼もしい

勇姿を見ることが出来ます。施設としても12月7日にファーストビームが滞りなく観測され、今後はいよいよビームラインに光を通す作業がはじまります。予定通り2024年の4月にはユーザー利用が開始できそうです。建設に従事している皆様の献身的なご努力に心から感謝申し上げます。

既に何度も申し上げておりますように、東京大学放射光アウトステーションのエンドステーションは、コアリションビームラインに設置されており、2024年の運用開始から2年間は、出資した企業や研究機関（コアリションメンバー）が優先的に利用可能とされるビームタイムからスタートします。運用開始3年目以降、共用ビームタイムの配分についても

NEWS LETTER

会長挨拶

検討されることと思います。移設作業のために一時的にストップしております共同利用に関しましては、今後再開し継続していくために方策を探っているとのお話しが1月の総会で軌道放射物性研究施設の前田施設長よりありました。今後NanoTerasuの利用方法が整備されるにしたがって、具体的な事が決まっていくものと思いますので、今しばらくお待ちいただければと思います。

また、これも1月の総会でお知らせしたように、今回の移設を機会に本会の活動の場を特定の施設やビームラインに限らずに、国内のVUV・SX領域の光を使ったサイエンス全体を対象にすることを目指して、本会の将来のありかたをワーキンググループにて検討いただいております。全国には、VUV・SX光源で優れた成果をあげている放射光施設、ビームライ

ンが数多くあります。また、高次高調波レーザー光源は、物性研究に重要なVUV・SX光源となりつつあります。今後、総会や研究会などを通して、本会の新しい形を皆様と議論し作り上げていくことになると思います。そして国内のVUV・SXサイエンスを牽引していく利用者集団となることが本懇談会の役割と考えています。今後とも皆様の活躍とVUV・SXサイエンスへのご貢献を期待しております。

特集

VUV・SX領域の高調波レーザーの進展

・・・4

 レーザー高調波の特徴と利用研究

板谷治郎 氏

東京大学 物性研究所 極限コヒーレント光科学研究センター

○実験課題公募について

東京大学物性研究所 軌道放射物性研究施設では、2024年度前期の定期申請の募集を行いません。施設では一般の共同利用としてレーザーを用いたスピン角度分解光電子分光実験などがございますので、そちらをご利用ください。

[HTTP://www.issp.u-tokyo.ac.jp/maincontents/jointinfo/offering10.html](http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/maincontents/jointinfo/offering10.html)

○研究会報告

- ・シンクロトロン放射光連携研究機構第1回シンポジウム
- ・ISSPワークショップ「高次高調波レーザーと放射光の協創と共存による分光革命」

 賛助会員

・・・・・・12

賛助会員として、5社の企業各社にご協力いただいております。
ここに深く感謝申し上げますとともに、掲載させていただきます。

 編集後記 宮脇 淳 編集委員長
(量子科学技術研究開発機構)

ナノテラスの運用開始が2024年4月に迫り、現場では建設が大詰めを迎え、利用に向けた議論が一層具体化しています。VSX懇談会の役割も変化しつつあり、施設、コミュニティのいずれでも、新たなフェーズへの移行に際して不安と期待が入り混じっていますが、スムーズな始動と継続的な発展を心から願っております。執筆していただいた先生方をはじめ、お忙しい中ご協力いただいた皆様には、深く感謝申し上げます。特に相原様には多大なるご協力を賜り、改めて厚く御礼申し上げます。

賛助会員

ツジ電子株式会社

住所：〒300-0013 茨城県土浦市神立町3739

連絡先：Tel:029-832-3031 Fax:029-832-2662 E-mail:info2@tsuji-denshi.co.jp

URL：http://www.tsujicon.jp

営業内容：ステッピングモータのコントローラを始め、エレクトロニクスを駆使して、より良い実験環境構築のお手伝いをさせていただいております。過去の図面はすべて保存されており、メンテナンスも迅速に対応いたします。

株式会社 トヤマ

住所：〒258-0112 神奈川県足柄上郡山北町岸3816-1

連絡先：Tel:0465-79-1411 Fax:0465-79-1412 E-mail:salesdept@toyama-jp.com

URL：http://www.toyama-jp.com

営業内容：「精密加工技術」「超高真空技術」「超高精度メカ技術」を駆使し、ご要望に合わせた装置の設計・製作が可能です。また、STXM、表面分析装置や成膜装置用の各種コンポーネントなどの製造販売も行っています。トヤマはモノづくりを通して最先端の科学に貢献して参ります。

株式会社 ユニソク

住所：〒573-0131 大阪府枚方市春日野2丁目4番3号

連絡先：Tel:072-858-6456 Fax:072-859-5655 E-mail:info@unisoku.co.jp

URL：http://www.unisoku.co.jp

営業内容：当社は創業以来一貫して高速分光測定装置や走査型プローブ顕微鏡等、先端的な測定機器の開発、製品化、販売を行ってきました。その技術は大学、研究機関及び民間企業の研究者様から高い評価を得ております。

賛助会員

ラドデバイス株式会社

住 所：〒192-0071 八王子市八日町8-1 ビュータワー八王子3F

連絡先：Tel:042-622-8818 Fax: 042-622-8819 E-mail: sales@rad-dvc.co.jp

URL：http://www.rad-dvc.co.jp

営業内容：光学デバイスを軸に、研究・開発フィールドのニーズにマッチするユニーク且つ優れた海外製品をお届けする輸入商社です。製品に加え、校正・測定、カスタマイズ等のサービスを提供いたします。

研究・開発フィールドのニーズにマッチするユニーク且つ優れた海外製品をお届けする輸入商社です。製品に加え、校正・測定、カスタマイズ等のサービスを提供いたします。

ロックゲート株式会社

住 所：〒116-0013 東京都荒川区西日暮里1-61-23

連絡先：Tel:03-5805-8411 Fax: 03-5805-8431 E-mail: info@rockgateco.com

URL：http://www.rockgateco.com

営業内容：低温・磁場関係の技術がベースになっている会社で、以下の製品の取り扱いがある。ヘリウムフロー式クライオスタット、冷凍機、無冷媒希釈冷凍機、AC抵抗ブリッジ、引抜き式磁化測定装置、低温/磁場用ピエゾポジショナー・ローテーター、STM・CFM・AFM・SNOM、ラマンイメージングシステム、微小磁場測定装置、など。